



※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	63,000,000株	28年3月期	63,000,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	3,087,000株	28年3月期	3,087,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	59,913,000株	28年3月期1Q	63,000,000株

- (注) 1. 当社は平成27年5月27日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。上記の発行済株式数は、前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しています。
2. 当社は「株式給付信託（J-ESOP）」を導入しており、信託口が保有する当社株式を期末自己株式数に含めています（平成29年3月期第1四半期3,087,000株、平成28年3月期3,087,000株）。また、信託口が保有する当社株式を期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式に含めています（平成29年3月期第1四半期3,087,000株、平成28年3月期第1四半期-株）。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 追加情報	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年6月30日、以下「当期」)における当社グループの業績は、円高の影響、及び異方性導電膜(ACF)や接合関連材料の売上減少により、売上高は12,832百万円(前年同期比13.2%減少)、営業利益は553百万円(前年同期比69.6%減少)となりました。経常利益は為替差損の計上により158百万円(前年同期比91.7%減少)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は91百万円(前年同期比92.7%減少)となりました。

各セグメントの業績、ならびに製品カテゴリー別の売上状況は以下のとおりです。なお、前期まで「リチウムイオン電池2次保護素子」と称していたカテゴリーについて、当期から「表面実装型ヒューズ」へとカテゴリー名を変更しています。カテゴリー区分そのものには変更はありません。

#### ① 光学材料部品事業

(単位：百万円)

	当期	前年同期	増減率
売上高	5,583	5,863	△4.8%
営業利益	307	408	△24.6%

(注) 売上高にはセグメント間取引が含まれています。

当期においては、光学ソリューションにおいて電子書籍端末の貼り合わせの受注増などにより増収となりました。また、光学樹脂材料では、タブレット向けなどのハイブリッドSVRの売上が伸長した一方で、スマートフォン向けなどの既存のSVRの売上が減少しました。この結果、売上高は5,583百万円(前年同期比4.8%減)となりました。営業利益面では、光学ソリューションでの受注製品の変化による利益率の悪化などにより、307百万円(前年同期比24.6%減)となりました。

#### ② 電子材料部品事業

(単位：百万円)

	当期	前年同期	増減率
売上高	7,282	8,964	△18.8%
営業利益	695	1,865	△62.7%

(注) 売上高にはセグメント間取引が含まれています。

当期においては、スマートフォン向けの売上が伸長した表面実装型ヒューズと、プロジェクター向け無機偏光板や無機波長板の売上が堅調に推移したマイクロデバイスでは、前年同期比で増収となりました。しかしながら、異方性導電膜及び接合関連材料の二つのカテゴリーは、最終製品市場の厳しい環境が前下期より続いていることに加えて円高の影響もあり、減収減益となりました。この結果、売上高は7,282百万円(前年同期比18.8%減)、営業利益は695百万円(前年同期比62.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当期末における資産合計は84,288百万円となり、前連結会計年度末(平成28年3月31日、以下「前期末」)に比べ3,028百万円の減少となりました。

流動資産は30,207百万円となり、前期末に比べ3,516百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金が1,909百万円、受取手形及び売掛金が1,737百万円減少したことです。

固定資産は54,080百万円となり、前期末に比べ487百万円の増加となりました。主な要因は、のれん償却等により無形固定資産が411百万円減少した一方で、有形固定資産が703百万円増加したことです。

(負債の部)

当期末における負債合計は35,352百万円となり、前期末に比べ97百万円の増加となりました。

流動負債は15,811百万円となり、前期末に比べ308百万円の増加となりました。主な要因は賞与引当金が767百万円減少した一方で、未払金が810百万円、未払費用が425百万円増加したことです。

固定負債は19,540百万円となり、前期末に比べ210百万円の減少となりました。主な要因は、退職給付に係る負債が253百万円減少したことです。

(純資産の部)

当期末における純資産合計は48,936百万円となり、前期末に比べ3,126百万円の減少となりました。主な要因は、配当金の支払いで2,047百万円、為替換算調整勘定で1,164百万円減少したことです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想に関しましては、平成28年4月27日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しています。

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

① 取引の概要

当社は、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めることを目的とし、「株式給付信託(J-ESOP)」を設定しています。

② 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しています。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前期末3,235百万円、3,087千株、当期末3,235百万円、3,087千株です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,259	14,350
受取手形及び売掛金	10,278	8,541
電子記録債権	39	44
商品及び製品	1,555	1,623
仕掛品	1,551	1,883
原材料及び貯蔵品	1,114	1,117
繰延税金資産	939	806
その他	2,000	1,853
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	33,724	30,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,079	23,361
減価償却累計額	△17,713	△17,883
建物及び構築物(純額)	5,366	5,477
機械装置及び運搬具	34,740	34,369
減価償却累計額	△30,313	△30,122
機械装置及び運搬具(純額)	4,427	4,246
土地	3,620	3,620
建設仮勘定	3,244	4,016
その他	842	843
有形固定資産合計	17,501	18,205
無形固定資産		
のれん	29,679	29,214
特許権	3,083	2,982
その他	1,269	1,424
無形固定資産合計	34,032	33,620
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,649	1,857
その他	409	396
投資その他の資産合計	2,058	2,254
固定資産合計	53,592	54,080
資産合計	87,316	84,288

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,377	5,361
電子記録債務	1,202	1,096
1年内返済予定の長期借入金	3,000	3,000
未払金	2,277	3,087
未払費用	693	1,118
賞与引当金	1,578	810
繰延税金負債	10	9
その他	1,362	1,327
流動負債合計	15,503	15,811
固定負債		
長期借入金	12,500	12,500
退職給付に係る負債	6,915	6,661
繰延税金負債	36	32
その他	299	345
固定負債合計	19,751	19,540
負債合計	35,254	35,352
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,747	15,747
資本剰余金	15,747	15,747
利益剰余金	21,487	19,531
自己株式	△3,235	△3,235
株主資本合計	49,747	47,790
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,005	840
退職給付に係る調整累計額	310	304
その他の包括利益累計額合計	2,315	1,145
純資産合計	52,062	48,936
負債純資産合計	87,316	84,288

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	14,782	12,832
売上原価	8,623	8,007
売上総利益	6,159	4,824
販売費及び一般管理費	4,334	4,270
営業利益	1,824	553
営業外収益		
受取利息	2	1
為替差益	117	—
その他	22	12
営業外収益合計	141	13
営業外費用		
支払利息	29	22
株式公開費用	26	—
為替差損	—	374
その他	8	12
営業外費用合計	64	408
経常利益	1,901	158
特別損失		
固定資産除却損	16	0
特別損失合計	16	0
税金等調整前四半期純利益	1,885	158
法人税、住民税及び事業税	152	146
法人税等調整額	484	△79
法人税等合計	637	66
四半期純利益	1,247	91
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,247	91



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	1,247	91
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	1	—
為替換算調整勘定	230	△1,164
退職給付に係る調整額	△22	△5
その他の包括利益合計	209	△1,170
四半期包括利益	1,456	△1,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,456	△1,078
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	光学材料部品	電子材料部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,863	8,919	14,782	—	14,782
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	45	45	△45	—
計	5,863	8,964	14,828	△45	14,782
セグメント利益	408	1,865	2,274	△449	1,824

(注) セグメント利益の調整額△449百万円は、報告セグメントに帰属しないのれんの償却額です。

(参考) 海外売上高: 10,393百万円

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	光学材料部品	電子材料部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,583	7,248	12,832	—	12,832
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	34	34	△34	—
計	5,583	7,282	12,866	△34	12,832
セグメント利益	307	695	1,003	△449	553

(注) セグメント利益の調整額△449百万円は、報告セグメントに帰属しないのれんの償却額です。

(参考) 海外売上高: 9,513百万円